

## 編集後記

2018年の夏は大変な夏でした。7月の大雨は、中国地方を中心に大変な被害をもたらしました。被災された方々には、お見舞い申し上げます。その後、例年を上回るペースで台風が発生し、中には東から西へと日本列島を通過する、異常な動きのものがありません。

学術情報処理研究 22号をお届けします。本誌は、大学の情報系センターの業務に関連した研究・開発の成果を発表し、業務の改善に向けて情報共有する非常に重要な媒体です。

情報系センターは、大学の共通の情報基盤の整備・運用をミッションとし、運用レベルを一定水準に維持するだけでなく、情報技術の動向に沿って、そのレベル向上を図らなければなりません。特に、情報基盤が大学運営の基盤となり、可用性向上とともにセキュリティ対策の強化を求められています。各国立大学法人が策定した情報セキュリティ基本計画も最終年度を迎え、実施状況の確認とともに、次期計画の策定も視野に入ってきました。一方で、予算と人員の削減傾向は止まりません。

こうした状況に対応して、本号でも情報セキュリティに関連する多数の論文が寄稿されています。情報セキュリティ基本計画ではCSIRTを構築することが求められていますが、少ない人数で継続的に活動する方法が求められています。また、情報セキュリティでは技術的対応だけでなく、構成員に対する情報セキュリティ教育も不可欠です。その実施方法や効果に関して情報共有が必要です。

本号は、論文の質の向上とそれを裏付ける査読体制のために常設の編集委員会を置く体制による3回目の編集です。まだまだ不手際があり円滑とは言えない状況ですが、編集委員と多くの査読者の皆様にご協力いただき、良質な論文誌とすることができました。非常に厳しい日程の中、査読をお引き受け頂いた査読者の皆様と編集をともに行った編集委員の皆様に感謝いたします。

学術情報処理研究  
編集委員長 只木 進一

---

### 学術情報処理研究 編集委員会

委員長	只木 進一 (佐賀大学)		
副委員長	全 炳東 (千葉大学)		
委員	上田 哲史 (徳島大学)	土屋 英亮 (電気通信大学)	永井 孝幸 (京都工芸繊維大学)
	中野 裕司 (熊本大学)	西村 浩二 (広島大学)	野口 宏 (茨城大学)
	長谷川孝博 (静岡大学)	松浦 健二 (徳島大学)	

### 査読委員 (50音順)

青木 謙二 (宮崎大学)	伊藤 史人 (島根大学)	今泉 貴史 (千葉大学)
大瀧 保広 (茨城大学)	大谷 誠 (佐賀大学)	岡山 聖彦 (岡山大学)
沖野 浩二 (富山大学)	尾崎 拓郎 (大阪教育大学)	笠原 禎也 (金沢大学)
河野 圭太 (岡山大学)	北口 善明 (東京工業大学)	近堂 徹 (広島大学)
佐藤 聡 (筑波大学)	佐藤 隆士 (大阪教育大学)	志村 俊也 (横浜国立大学)
関 陽介 (徳島大学)	高田 良宏 (金沢大学)	高橋 寛 (愛媛大学)
田島 浩一 (広島大学)	中島 康 (一橋大学)	中村 豊 (九州工業大学)
長谷川 理 (武蔵大学)	鳩野 逸生 (神戸大学)	林 敏浩 (香川大学)
堀 良彰 (佐賀大学)	三原 義樹 (宇都宮大学)	武蔵 泰雄 (熊本大学)
吉田 和幸 (大分大学)		